



# 全国から寄せられる期待

## 縄文シティサミット in 洞爺湖レポート

語り手：文化財保護課長 大平洋佑



### 縄文都市連絡協議会

縄文文化の魅力・深さ・歴史的意義の全国へのPRと、まちづくりに活用するためのネットワークづくりを推進するため、平成11年に設置された。令和6年10月時点で全国22市町が加盟し、青森市が会長・事務局を務める。年1回、「縄文シティサミット」を加盟都市で開催し、都市間の交流と、縄文文化を活用したまちづくりの情報交換を行っている。

### 青森市からのメッセージ



この度、北本市の「デーノタメ遺跡」が国指定史跡に指定されましたこと、心からお祝い申し上げます。これまで遺跡の発掘・調査を行い、その保存と活用に御尽力されてこられた貴市をはじめ全ての関係者の皆様に深く敬意を表します。

デーノタメ遺跡は我が国の貴重な宝として未来に残すべき文化遺産であるとともに、地域の魅力を形づくる観光資源としても重要な役割を果たすものと存じます。

デーノタメ遺跡が持つ独自性や個性を本協議会会員都市の遺跡と結びつけ、縄文を活かしたまちづくりにさらなる相乗効果が生まれることを期待しております。

令和6年 11月 30日

縄文都市連絡協議会会長 青森市長 西 秀記

デーノタメ遺跡が国指定史跡になったことを受けて、今年度から「縄文都市連絡協議会」に加盟した北本市。10月7日に北海道洞爺湖町で開催された「縄文シティサミット in とうや湖」に初参加してきました。サミットでは記念講演のほか、18人の参加都市市長等によるパネルディスカッションが行われました。会場で「北本市からやっ

知度の高さ、ひいてはデーノタメ遺跡の重要性に改めて気付かされました。また、自らのまちから出た土偶の魅力や、「至高の縄文鍋」開発に向けた取り組みを語る姿から、それぞれの自治体の縄文遺跡の個性や魅力をより多くの人に伝えるため、日々真剣に考え、取り組んでいることが伝わってきました。この熱い想いを北本に持ち帰り、デーノタメ遺跡の整備・活用に生かしていきます。

今回の交流を通して学んだ取組事例や、日本各地の縄文史跡の先方から受け取った思いを胸に、「デーノタメ遺跡」の特色や魅力を伝え、より多くの皆様に親しんでいただけるような史跡とすべく、整備を進めていきます。

# 縄文の楽しみ方は人それぞれ。色々な入口があっていいと思う。

昔から実家の畑でたまに土器を拾うことがあったりして、縄文は割と身近な存在でした。音楽活動をする中で、音楽の起源、生活の音について考えてみたくて、「縄もんセッション」というイベントを開いてたこともあったんです。だから北本団地に「中庭」を開くと決めたところ、近くにデーノタメ遺跡があるって聞いたときは縁を感じましたね。



台原縄文音楽祭主催・ジャズ喫茶中庭のオーナー兼演奏家 落合康介さん

「縄文を学術的に楽しむ方法もあるけど、もっと感覚的に楽しむこともできる。そう思って、台原縄文音楽祭では解説を聞くような左脳で楽しむ内容と、音楽や踊りみたいな右脳で縄文を楽しむものの両方がある場になっています。もう一つ大事にしているのは、日常の延長として自然体で楽しめること。そろそろデーノタメ遺跡がテーマの盆踊りみたいな、皆が気軽に参加できる曲も作りたいですね。将来、再現されたデーノタメの杜で、皆で踊るのが楽しみです。



④10月13日に開催した台原縄文音楽祭の様子  
⑤落合さんが運営するジャズ喫茶「中庭」にも多くの縄文グッズが並ぶ  
⑥長野県の井戸尻遺跡（国指定史跡）で行われたイベントにて馬頭琴を演奏する落合さん

# デーノタメ遺跡に夢中な“北本縄文人”



デーノタメ縄文の杜プロジェクトのメンバー 藤生英雄さん

デーノタメ遺跡を知ったのは去年の広報紙を読んだ時でした。北本に住んで25年になりますが、このまちにこんなすごい遺跡があるなんて知りませんでした。数年前に退職して、改めて自分の住むまちのことが知りたいと思ったときに、たまたま広報紙で知ったデーノタメ遺跡のシンポジウムを聞きに行っただけです。学術的な難しい話だろうと思っていたらすごく面白くて。市民の方が登壇していて、色々な活動があることを知ったんです。思わず妻を誘って市役所へ紹介してもらいに行きました。

今はデーノタメ縄文の杜プロジェクトで、代表の早野さんたちが毎月のように土器づくりやトチ拾い、クルマ収穫などの活動を計画してくださるので、夫婦で参加を楽しみにしています。たぶん遺跡に出会わなかったと思います。知り合いも増えて、このまちが自分の地元になったっていう実感が出てきました。多くの人や担当部署の皆さんの熱意がようやく実っての国指定、本当にすごいです。5000年前から現代まで、地続きで続く歴史を肌で感じられる貴重な場所です、子どもたち



③3月20日のみどりまつりでは弓矢・火起こし体験を開催  
④カラムシ採集の様子。麻のように繊維を取り出し、糸として使うことができる  
⑤夏休みの「子ども土器づくり体験」ではスタッフとして参加

デーノタメ縄文の杜プロジェクトについて知りたい、参加したい人は、denotamejyomon@gmail.comまでご連絡ください。

# 子どもたちに、地元の歴史や生活の実体験を楽しんで欲しい。

## みんなで作る！

# 「きたもと縄文みやげ」開発アイデアコンテスト

「縄文都市きたもと」をPRする「きたもと縄文みやげ」のアイデアを募集するコンテストを実施します。

募集期間 **12月1日(日)~31日(火)**

募集部門 ①グルメの部(料理部門) ②グッズの部(工芸品部門)

### スケジュール

・令和7年1月上旬 一次審査(1月下旬に二次審査決定者通知)

・2月23日(日・祝) コンテスト(二次審査)

■コミュニティセンター

■北本市観光協会 ☎591-1473

応募詳細についてはこちら

